



復興まちづくり通信

一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。町内外の皆さまに当会の活動の内容をご理解いただくとともに、復興の最新情報をお伝えすることで、共に地域の再建への道を歩んでいただけるよう『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。読者の皆様からの情報、ご意見、ご提案を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



（自治会長に選任され挨拶をする渡辺さん）



（およそ80人が参加した交流イベントの様子）

志津川東地区公営住宅で自治会設立総会と交流イベント開催！

町営志津川東復興住宅で11月27日、自治会の設立総会が行われました。集会所で開催された総会には、入居87世帯のうち45世帯からおよそ50人が出席。自治会の名称、規約などが決まりました。役員を選出が行われ、会長に就任した渡辺熊勝さんが「和気あいあい、笑い声のある自治会にしてい

たいので、よろしくお願いします」と挨拶されました。総会終了後、「秋の芋煮会すっぺし！みんな集合！」と銘打ったイベントが開催され、入居者と近隣の公営住宅や高台移転団地、さらに既存の住宅に暮らす住民らが一緒になって食事を楽しみながら、お互いの親睦を深めました。

戸倉に環境省のビジターセンターがオープン！

環境省が震災で被災した三陸の魅力を発信するため南三陸町戸倉に整備を進めてきた「南三陸・海のビジターセンター」が完成し、11月27日現地で開所式が行われました。施設は木造2階建てで、延べ床面積は約1,000㎡。レクチャールームや実習室、シャワー室などが完備され、自然体験を楽しめるプログラムを提供するほか、「みちのく潮風トレイル」の情報発信拠点としても活用されます。また、環境教育を通じて地域活性化が図られることも期待されます。



（ビジターセンター全景。右手奥は「県自然の家」）

志津川で千住真理子さん演奏 東復興住宅集会所でヴァイオリンコンサート

町営志津川東復興住宅の集会所で12月1日、ヴァイオリンの演奏会が開かれました。国内外で活躍するヴァイオリニストの千住真理子さんが入居者らおよそ40人に、バッハの「G線上のアリア」、ドビュッシーの「月の光」、兄の千住明さん編曲によるクラシック・ヴァージョンの「荒城の月」、モンティの「チャールダーシュ」など9曲を披露。聴衆は、心に染み入るような弦の調べに魅了されました。



(アンコールに応じて「アメイジング・グレイス」を演奏する千住真理子さん)



(自治会設立準備会の様子＝平成の森仮設住宅集会所)

高台移転団地で自治会設立準備会

4月に宅地が引き渡され住宅建築が進んでいる歌津伊里前地区の防災集団移転「みねはた団地」で、自治会設立に向けた動きが活発になっています。11月14日夜に開かれた3回目の自治会設立準備会には、同団地に参加申し込みをしている41戸のうち26世帯が出席。自治会規約について検討が行われ、会の目的・班編成・役員構成・任期などについて協議が行われました。来年1月末に団地内に集会所が出来上がる予定で、完成と同時に集会所を利用できる体制を整えられるようできるだけ早い自治会の発足を目指しています。

復興みなさん会の定例会が開催されました

当会の11月定例会が2日、志津川の上山八幡宮社務所で行われました。10月に開催された町主催の「くらしの懇談会」の様子や、各種団体から支援をいただいている助成事業の実施状況について情報を共有したほか、現在制作が進められている「歌津復興マップ（仮称）」の進捗状況について報告が行われました。協議事項では、復興公営住宅における入居者同士の絆づくりや、復興公営住宅とその周辺地区との絆づくり支援事業など、2017年3月までの取り組みについて活発な意見交換が行われました。



(通算128回目となる定例会の様子＝上山八幡宮)

一般社団法人 復興みなさん会



ジャパン・プラットフォーム (JPF) 「共に生きる」ファンド助成事業

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山26
上山八幡宮 社務所内 minasan.msrk@gmail.com